

船舶事故等調査報告書

平成25年10月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012函第79号
事故等種類	運航阻害
発生日時	平成24年11月17日（土） 03時56分ごろ
発生場所	青森県龍飛埼北方沖 青森県外ヶ浜町所在の龍飛埼灯台から真方位003° 6.5海里付近 （概位 北緯41° 22.0′ 東経140° 21.0′）
事故等調査の経過	平成24年12月7日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客フェリー すずらん、17,382トン 141565、新日本海フェリー株式会社
乗組員等に関する情報	船長、一級海技士（航海） 機関長、一級海技士（機関）
死傷者等	なし
損傷	ポッド推進器コンバーター装置内のインバーターユニットが損傷
事故等の経過	本船は、船長及び機関長ほか28人が乗り組み、旅客45人、乗用車16台及びトラック115台を乗せ、北海道苫小牧市苫小牧港を出港して福井県敦賀市敦賀港に向けて航行中、平成24年11月17日03時56分ごろ、龍飛埼北方沖において、ポッド推進器が停止した。 本船は、可変ピッチプロペラのみを使用して減速運航を続け、定刻より約5時間遅れて敦賀港に入港した。
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南南西、風力 8 海象：波向 南南西、波高 約2m
その他の事項	本船は、ディーゼル機関2機1軸による可変ピッチプロペラのほか、その船尾方に向かい合うように電気推進のポッド推進器を備えており、それぞれのプロペラを逆回転させることにより、二重反転プロペラと同様にエネルギーの損失が少なくなり、推進効率が増加する構造となっていた。 本船は、敦賀港において、来船したメーカー担当者により、ポッド推進器コンバーター装置内のインバーターユニットの交換修理が行われ、メーカーの報告書によれば、インバーターユニットには過電流による短絡が生じていた。
分析 乗組員等の関与	なし

<p>船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし</p> <p>本船は、龍飛埼北方沖を航行中、ポッド推進器コンバーター装置内のインバーターユニットに過電流による短絡が生じたことから、ポッド推進器が停止し、運航が阻害されたものと考えられる。</p> <p>ポッド推進器コンバーター装置内のインバーターユニットに過電流が生じた経緯については、明らかにすることができなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、夜間、本船が、龍飛埼北方沖を航行中、ポッド推進器コンバーター装置内のインバーターユニットに過電流による短絡が生じたため、ポッド推進器が停止したことにより発生したものと考えられる。</p>